

最近の県内景況

持ち直しのペースが鈍化しつつある

概況

国内景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。**県内景況**をみると、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移しているが、中東情勢に伴うサプライチェーンやコスト面の不透明感が強まっており、「持ち直しのペースが鈍化しつつある」と判断を据え置いた。地政学リスクが消費・生産動向に及ぼす影響を懸念している。

生産 2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、1044(前月比1.0%上昇)と前月を上回った。

個人消費(小売商況・自動車) 4月の小売商況は、気温上昇に伴う季節商品の需要や新学期関連の需要がみられた。1人当たりの買上点数は減少したものの、単価上昇により売上高は前年を上回った。家電は2027年度からの省エネ基準変更を見据えた買い替え需要によりエアコンが好調を維持した。自動車販売は登録台数(含む軽)は前年比13.3%増の2,044台となった。

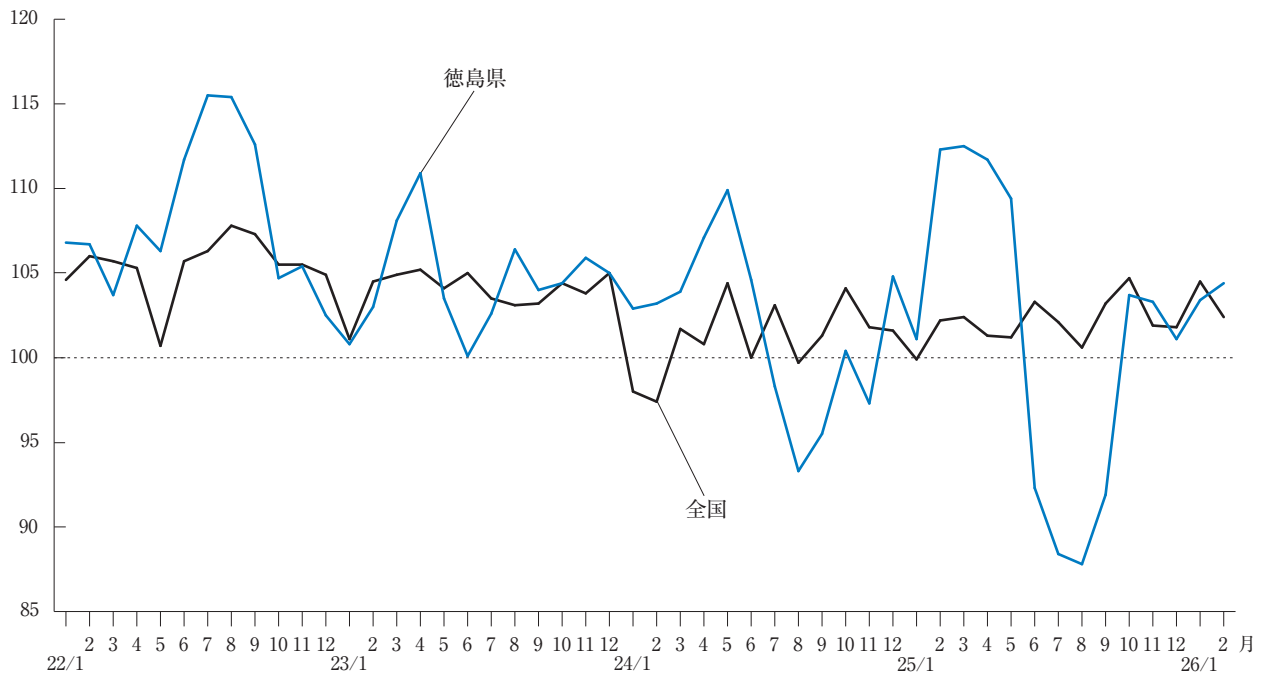
旅行・宿泊 4月の国内旅行は、お花見ツアーやテーマパーク関連などが堅調に推移し、旅行単価の上昇も重なって、取扱高は前年を上回った。海外旅行は、近場の韓国やビジネス関連を中心に好調を維持し、取扱高は前年を上回って推移した。宿泊は、韓国・台湾からのインバウンド需要に加え、学会開催に伴う需要の増加もあり、前年を上回る水準で推移した。

住宅投資 3月の新設住宅着工戸数(総戸数)は、前年比22.4%減の173戸となった。(2026年1～3月の総戸数累計は、前年同期比9.7%増の610戸となった。)

公共工事 4月の請負件数は、前年比22.8%増、請負金額は同25.9%増となった。

雇用情勢 3月の有効求人倍率(季節調整済)は、1.20倍で前月比0.02ポイント上昇した。

鉱工業生産指数（徳島県、全国）



(2020年 = 100 季節調整済指数)

徳島県(2月)

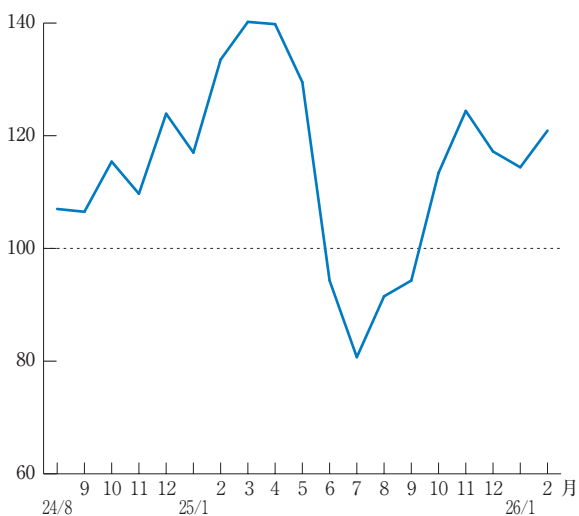
徳島県の2月(速報値)の鉱工業生産指数は、104.4(季節調整済)で前月比1.0%上昇、原指数は98.0で前年比7.0%低下となった。

季節調整済指数の内訳をみると、前月比で上昇したのは全15業種のうち6業種で、金属製品(17.3%)、パルプ・紙・紙加工品(6.0%)、化学(5.7%)など。一方、低下した業種は、窯業・土石製品(19.1%)、はん用・生産用・業務用機械(6.8%)、木材・木製品(3.6%)、電気機械(0.8%)など。

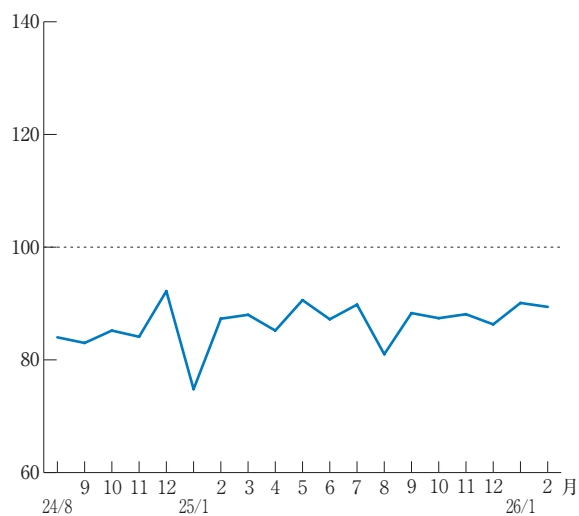
原指数の内訳をみると、前年比で上昇したのは全15業種のうち6業種で、木材・木製品(8.1%)、食料品・飲料・飼料(5.1%)、家具(3.8%)、電気機械(2.4%)など。一方、低下した業種は、はん用・生産用・業務用機械(25.7%)、窯業・土石製品(11.8%)、化学(9.5%)など。

業種別鉱工業生産指数 (カッコ内数字は、全体を 10,000 としたウエイト) (2020年=100 季節調整済指数)

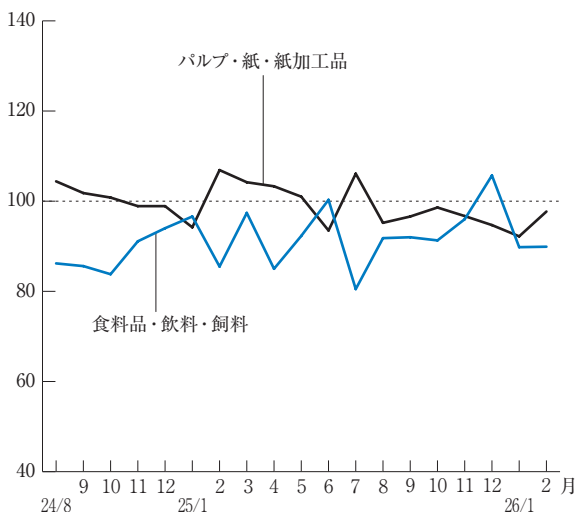
化学 (4,332.7)



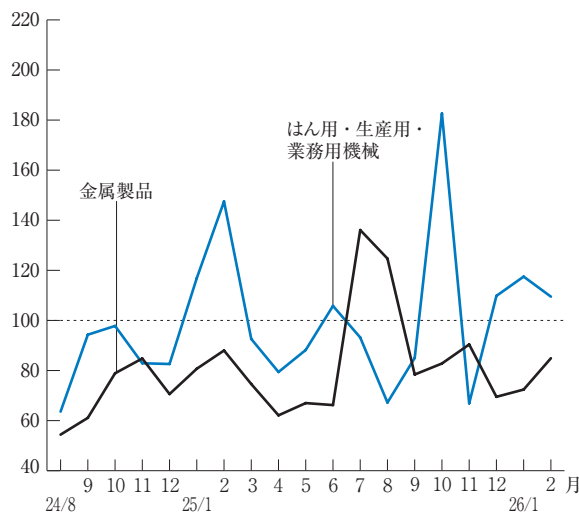
電気機械 (2,153.6)



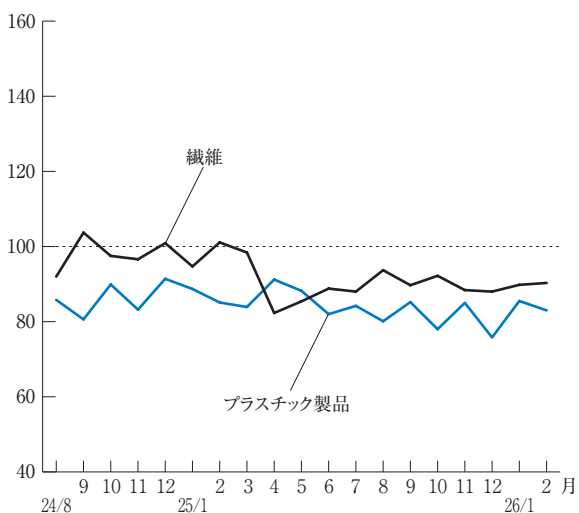
食料品・飲料・飼料 (620.1)
パルプ・紙・紙加工品 (577.7)



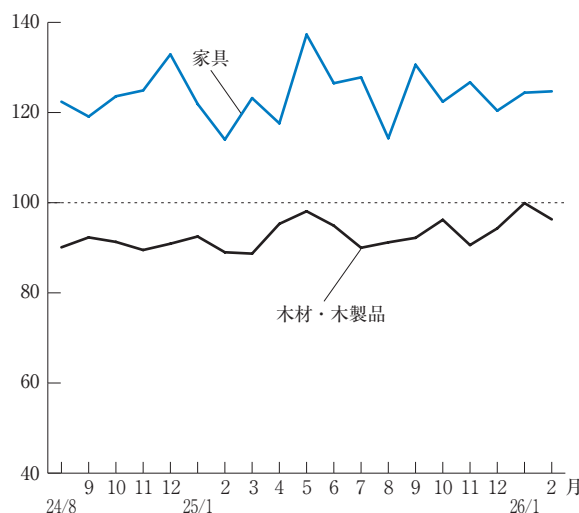
はん用・生産用・業務用機械 (473.5)
金属製品 (395.7)



プラスチック製品 (346.7)、繊維 (65.6)

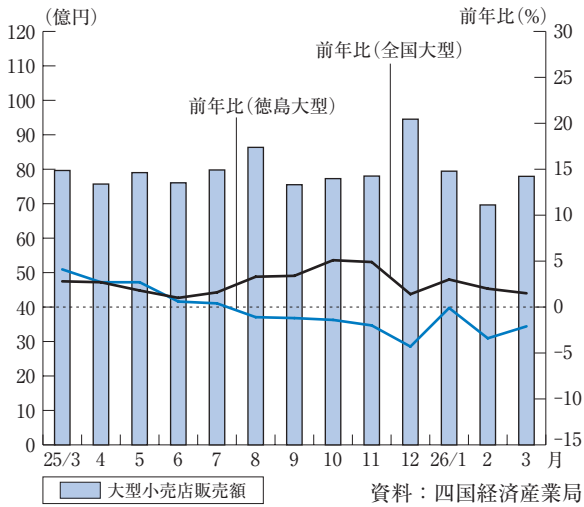


木材・木製品 (172.1)、家具 (197.4)



資料：徳島県統計課

大型小売店・専門量販店販売額



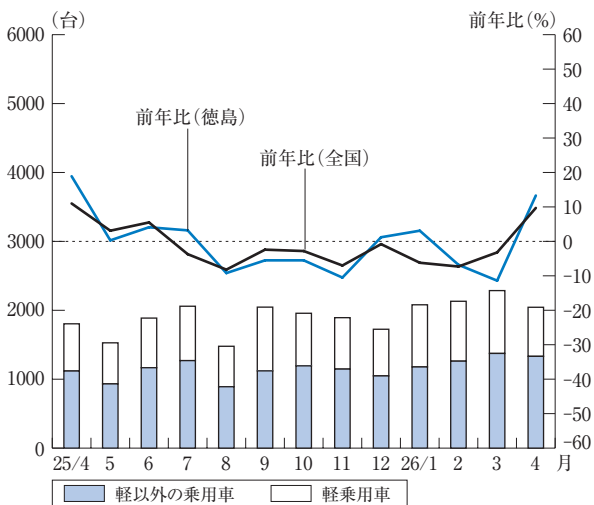
4月の小売商況は、節約志向を背景に選択的消費の傾向が続く中、気温上昇に伴う季節商品の需要や新学期関連の需要がみられた。1人当たりの買上点数は減少したものの、単価上昇により売上高は前年を上回った。

品目別にみると、衣料品は春物の販売期間が短縮傾向にあり、売上げは伸び悩んだ。身の回り品・雑貨はシールが好調を維持したほか、サングラスも動きがみられた。サービスではシネマやカプセルトイ、玩具などホビー関連が引き続き人気を集めた。飲食ではファストフード店が引き続き好調だった。家電は2027年度からの省エネ基準変更を見据えた買い替え需要を背景に、エアコンの販売が高水準を維持している。食料品は特売日に来店客が集中するなど低価格

志向が強まっている。野菜は相場安の影響で売上げが伸び悩んだものの、惣菜や精肉が底堅く推移し、全体の売上高は前年を上回った。卵は単価が上昇する中でも買上点数を維持している。

5月以降も、購入商品や購買機会を選別する動きは続いているが、気温上昇に伴い、夏物衣料や暑さ対策、UV関連商品の動きがみられている。

自動車販売



4月の自動車販売は、登録台数(含む軽)は前年比13.3%増の2,044台となった。

内訳をみると、普通車(3ナンバー)は861台で前年比18.4%増、中小型車・大衆車は471台で同20.2%増となり、登録車合計は1,332台で同19.0%増となった。また、軽自動車は712台で同3.9%増であった。

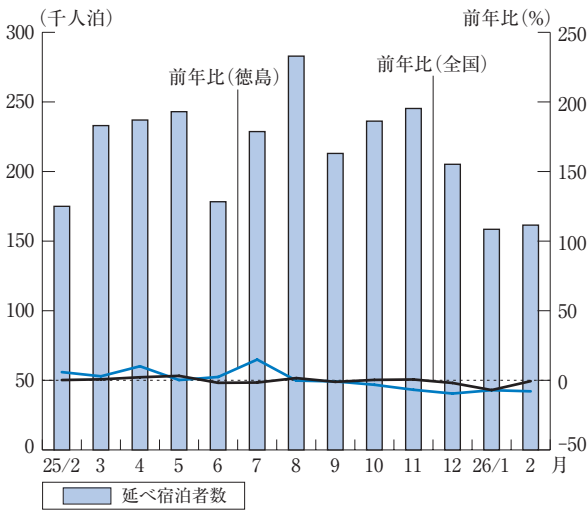
(2026年1～4月の登録台数(含む軽)累計は、前年同期比1.7%減の8,541台となった。)

旅行業

4月の旅行需要をみると、国内旅行は、お花見ツアーやテーマパーク関連が堅調に推移し、旅行単価の上昇も重なり、取扱高は前年を上回った。海外旅行は、近場の韓国を中心に好調を維持し、取扱高は前年プラスとなった。国内・海外を合わせた個人旅行の取扱高は、前年を上回って推移した。

5月以降の国内旅行は、テーマパーク需要や近場で過ごす需要でGWの期間を中心に予約は堅調である。海外旅行については、韓国やスポーツ関連の需要は好調を維持しているものの、国際情勢の不透明感や旅行価格の高騰に伴い、ヨーロッパ方面への影響がみられる。

ホテル・旅館



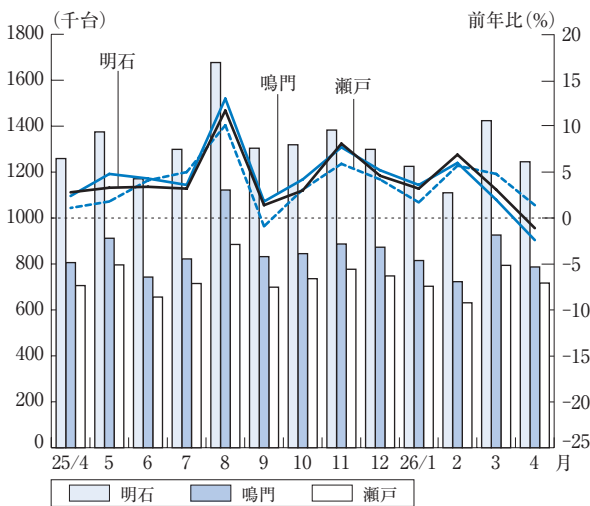
資料：国土交通省「宿泊旅行統計」(全宿泊施設)

4月の徳島市内の主要ホテル・旅館業は、韓国・台湾からのインバウンド需要の好調が続いていることに加え、学会開催に伴う需要の増加もあり、全体として前年を上回る水準で推移した。お遍路の利用も国内外ともに増加している。宴会・飲食部門では歓迎会需要は限定的だったものの、団体客による朝食利用が堅調に推移した。

5月は、ゴールデンウィークの連休効果に加え、ライブイベントやマチ★アソビなど各種催事の集客効果が寄与し、全体として前年を上回る水準で推移している。

宿泊旅行統計【全宿泊施設】をみると、2月の徳島県の延べ宿泊者数(第2次速報)は162千人泊で、前年比7.9%減となった。

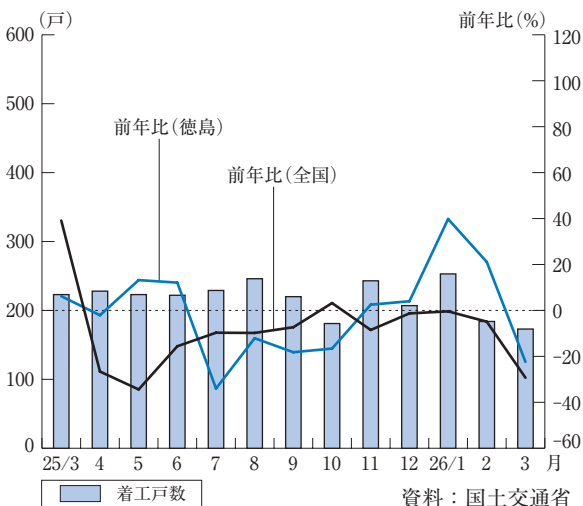
本州四国連絡道路交通量



資料：本州四国連絡高速道路

4月の本州四国連絡道路の交通量をみると、明石海峡大橋は前年比1.1%減、大鳴門橋は同2.4%減、瀬戸大橋は同1.4%増となった。

住宅投資



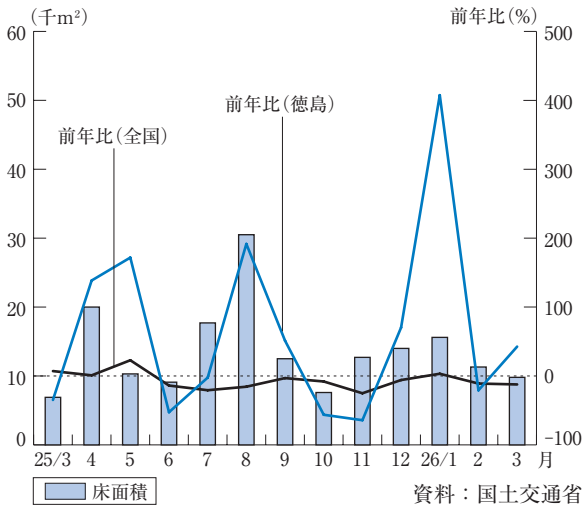
資料：国土交通省

3月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は前年比22.4%減の173戸となった。

利用関係別では、持家は前年比46.3%減の86戸、貸家は同47.7%増の65戸、分譲は同31.3%増の21戸であった。総床面積は15,743㎡で、同30.3%減少した。

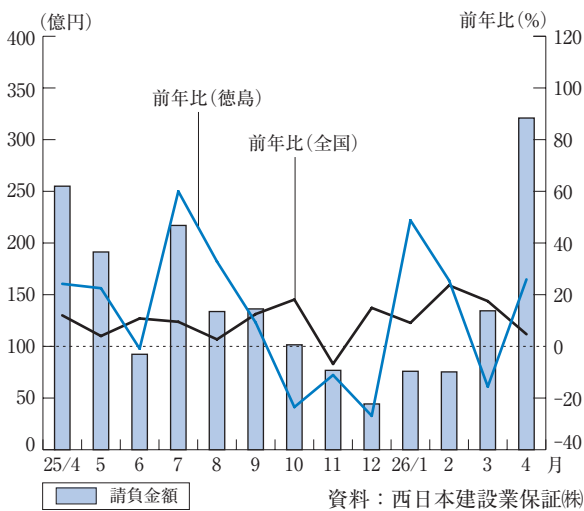
(2026年1～3月の総戸数累計は、前年同期比9.7%増の610戸となった。)

非居住用建築着工床面積



3月の非居住用建築着工床面積（店舗、工場等）は、前年比42.6%増の9,839㎡で、工事費予定額は同5.8%減の18億53百万円となった。

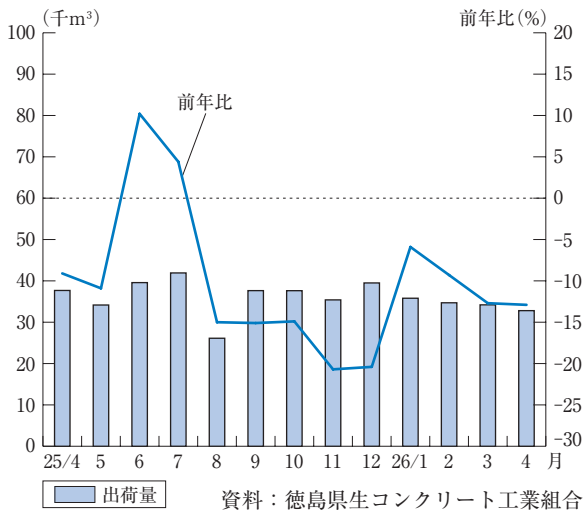
公共工事



4月の公共工事（西日本建設業保証徳島支店調べ）をみると、請負件数は、前年比22.8%増の485件、請負金額は同25.9%増の320億91百万円となった。

発注者別にみると、「県」は126億13百万円で前年比9.9%増、「市町村」は122億55百万円で同60.4%増、「独立行政法人等」は36億21百万円で同24.4%増、「国」は15億53百万円で同30.5%減となった。

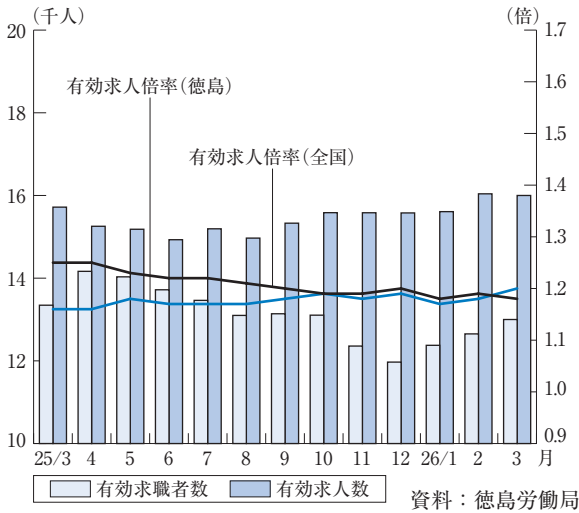
生コン出荷量



4月の生コン出荷量（県生コンクリート工業組合出荷速報）は33千立方メートル、前年比12.9%減となった。

民需は5千立方メートルで前年比13.6%減、官公需は28千立方メートルで同12.8%減となった。

雇用関連 (求人)



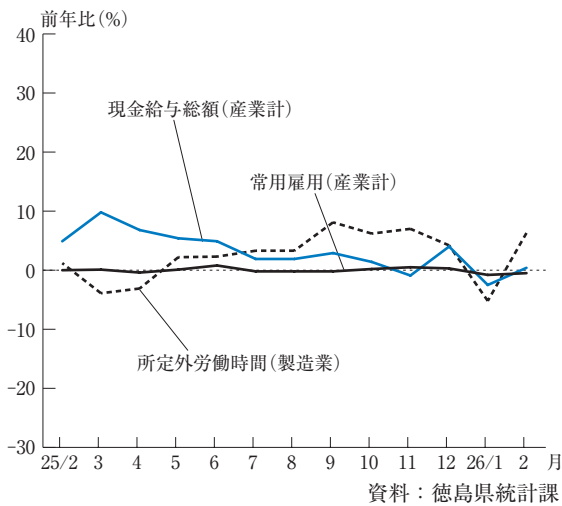
3月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.20倍で前月比0.02ポイント上昇。原数値は、1.21倍で前年比0.03ポイント上昇。有効求人数は15,735人で前年比0.1%増加、有効求職者数は13,000人で同2.6%減少した。

新規求人数(一般。パートを除く)は3,050人で前年比2.3%減少、パートの新規求人は1,933人で同4.7%減少した。

内訳をみると、運輸業・郵便業、農林漁業、サービス業などで増加し、公務・その他、医療・福祉、学術研究・専門技術サービス業などで減少した。

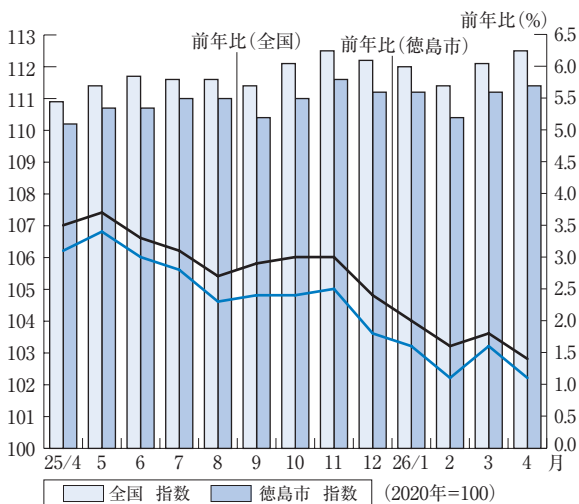
なお、雇用保険受給者実人員数は前年比19.09%増(10ヵ月連続)となった。

雇用関連 (勤労統計)



2月の毎月勤労統計(5人以上の事業所)によれば、常用雇用指数(産業計)は103.5で前年比0.5%減少、現金給与総額指数(産業計)は92.0で同0.4%上昇、所定外労働時間指数(製造業)は92.7で同6.3%上昇となった。

消費者物価指数 (徳島市)



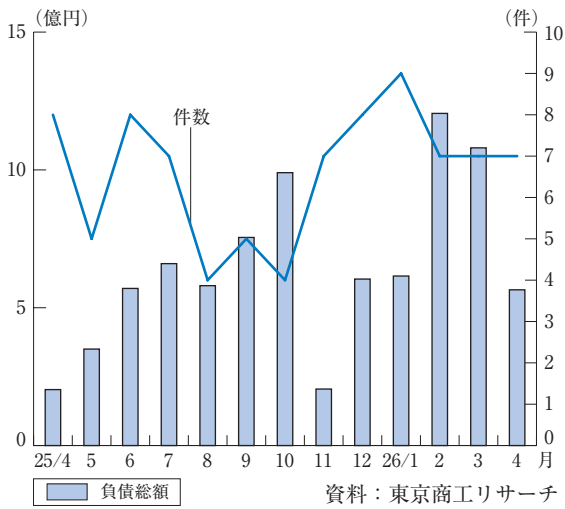
4月の消費者物価指数は、111.9で前年比1.1%上昇(前月比0.3%上昇)、生鮮食品を除く総合は111.4で同1.1%上昇(同0.2%上昇)であった。

費目別にみると、前年比上昇した科目費目は、食料(4.0%)、家具・家事用品(1.7%)、教養娯楽(1.7%)など。一方、低下した費目は光熱・水道(△1.6%)、被服及び履物(△0.5%)、教育(△0.3%)、保健医療(△0.3%)など。

(指数：2020年=100)

※「生鮮食品を除く総合」の数値をグラフ化
資料：総務省

企業倒産

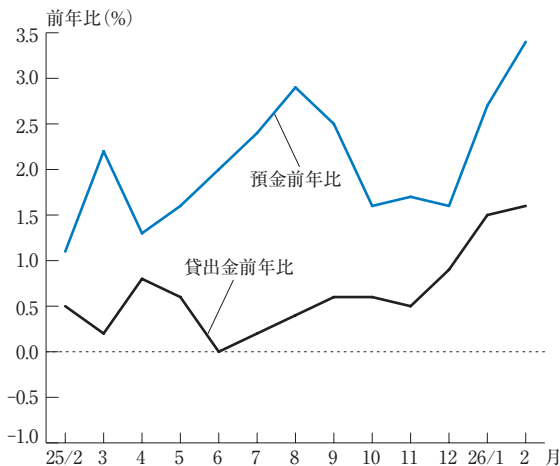


4月の企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）をみると、7件で負債総額は5億65百万円であった。業種別では、製造業、不動産業、サービス業他が各2件、小売業が1件であった。

帝国データバンクの調査（負債総額1千万円以上、法的整理による倒産）では、6件で、負債総額は6億45百万円であった。

（2026年1～4月の負債総額累計（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）は、前年同期比158.4%増の34億65百万円、負債件数累計は10件増の30件となった。）

金融



2月の民間金融機関貸出金残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では前年比1.6%増となり、8ヵ月連続で前年を上回った。（1月末の貸出約定平均金利1.332%→2月末1.365%、国内銀行ベース）。

預金については、前年比3.4%増となった。

※預金、貸出金の対前年増減率について、2021年4月以降は国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額をもとに算出しており、2021年3月以前とは連続しない。資料：日本銀行

第3回 経済動向調査会（2026.4.20開催）要旨

題記会合における発言内容の抜粋・概略を以下に取りまとめました。ぜひご参照ください（小売・飲食・宿泊関連は当研究所から発表しており概略は4～5ページをご参照ください。本要旨全文は当研究所にWEB掲載しております）。

◆ハウズビルダー

- ・持家は4号特例廃止、分譲は在庫調整進展や高性能化などにより、県内の住宅着工戸数は足元にかけてようやく前年を上回ってきた。
- ・イラン情勢を起因として、資材の価格上昇が加速しているほか、供給そのものがストップする懸念も大きい。不安定な情勢が長引くと、着工・完工できない事態も想定される。

◆自動車ディーラー

- ・取得時にかかる「環境性能割」廃止により4月以降に新車登録が先送りされているが、この反動により回復に向かう可能性が高く、現在受注残が前年比2倍を超える車種もある。
- ・イラン情勢は新車登録に大きい影響を与えていないが、不安定な情勢が長引くと修理時などで使用する塗料、シンナー等が不足する懸念が広がっている。

◆商社（建設・製造向け販売が主）

- ・イラン情勢により、塩ビ、接着剤、さび止め、メッキ関連、シンナーなどで納期が遅れている、供給のメドが立っていないといった影響が出てきている。
- ・顧客に対して、当面必要な資材については納入の判断を早めにしてもらうよう依頼している。もっとも、半年以上先の納入は保証できない。

◆信用調査機関

- ・2025年度の県内企業の倒産件数は過去10年間で最も多く、四国の他3県よりも多く推移してきている。一方、負債総額は10億円以上の大型倒産がなく10年間で3番目に多い結果となった。倒産の増加は今後も続く公算が大きい。

◆行政等

- ・イラン情勢により樹脂関連製品が5月以降40%以上値上げされる、といった動きがみられる。
- ・県内企業へのさまざまな影響を把握するため、特別相談窓口を設けるとともに、企業へのヒアリングやアンケート調査も開始した。
- ・イラン情勢の影響を反映していない2月中旬の調査では、製造業の一部で受注の減少や価格転嫁の遅れ、非製造業では受発注の減少、競争激化、節約志向の高まりなどがみられた。
- ・4月の景気判断は、全国で徳島だけが下向きを示す「弱含み」となった。設備投資や住宅投資が弱い中、公共投資も高水準ながらもピークアウトを示し、生産も良いとは言えないため。
- ・仕入・販売価格判断をみると、徳島の採算性がじわじわ悪化しており、価格転嫁が全国と比べ困難化していることが見受けられる。
- ・県内は、設備投資不足、人件費の増加と価格転嫁不足による低利益率の状況にイラン情勢によるコストアップが加わるので、ショック耐性が低いと思われる。

■質疑応答・要望等

- ・資材の供給は今でも不安定であり、イラン情勢の不安定が長期化するとさらに混乱を増すことになるだろう。工期の延期などの協議や要請が必要になることも想定される。
- ・仕入価格や人件費の高騰、人手不足を要因とする倒産はまだ少ないが、不安定なイラン情勢によるさらなるコストアップや金利上昇が加わると、倒産件数は今後大きく増加する懸念がある。
- ・県では中小企業・小規模事業者への各種の支援施策を準備しており、ぜひ活用してほしい。

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数 2020年=100													
	鉱工業総合		金属製品		はん用・生産用・業務用機械		電気機械		化学		プラスチック製品		パルプ・紙・紙加工品	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
	10000	%	wt.395.7	%	wt.473.5	%	wt.2153.6	%	wt.4332.7	%	wt.346.7	%	wt.577.7	%
2022年	108.1	1.3	101.0	24.5	102.3	△ 8.1	105.8	△ 7.8	113.1	6.1	96.0	△ 10.8	106.4	4.0
2023年	104.3	△ 3.5	102.4	1.4	98.1	△ 4.1	96.1	△ 9.2	113.6	0.4	82.4	△ 14.2	102.2	△ 3.9
2024年	102.0	△ 2.2	73.1	△ 28.6	95.1	△ 3.1	88.3	△ 8.1	117.6	3.5	84.9	3.0	98.5	△ 3.6
2025年	101.3	△ 0.7	84.8	16.0	102.8	8.1	86.1	△ 2.5	114.9	△ 2.3	84.0	△ 1.1	99.5	1.0
2025.1	101.1	△ 1.8	80.7	10.0	116.9	64.3	74.8	△ 19.3	117.0	△ 2.6	88.7	8.3	94.2	4.5
2	112.3	4.9	88.0	7.2	147.5	34.3	87.3	△ 4.2	133.5	6.8	85.1	0.8	106.9	29.1
3	112.5	8.3	74.6	19.1	92.6	△ 21.9	88.0	△ 0.9	140.2	18.2	83.9	5.8	104.2	2.1
4	112.0	4.6	62.1	4.5	79.4	△ 24.6	85.2	△ 4.6	139.8	11.3	91.2	11.5	103.3	1.0
5	109.4	△ 1.2	67.0	△ 39.0	88.2	△ 11.6	90.6	1.1	129.5	1.7	88.2	△ 2.0	101.0	△ 3.8
6	92.3	△ 11.0	66.2	△ 0.8	105.8	14.7	87.2	△ 2.4	94.3	△ 23.2	82.0	△ 1.5	93.5	3.7
7	88.4	△ 10.0	136.1	88.7	93.2	△ 10.4	89.8	△ 0.3	80.7	△ 25.4	84.2	△ 3.5	106.1	4.8
8	87.8	△ 6.5	124.7	135.3	67.2	5.0	81.0	△ 5.3	91.5	△ 14.5	80.1	△ 9.3	95.2	△ 10.2
9	91.9	△ 3.1	78.4	25.0	85.0	△ 9.3	88.3	8.1	94.3	△ 11.5	85.2	8.8	96.6	△ 3.6
10	103.7	3.3	82.8	5.1	182.6	86.6	87.4	2.6	113.4	△ 1.8	78.0	△ 13.3	98.6	△ 2.2
11	103.3	4.8	90.4	3.5	66.9	△ 14.3	88.1	2.4	124.4	12.8	85.0	0.5	96.7	△ 3.8
12	101.1	△ 2.8	69.5	△ 4.1	109.8	33.7	86.3	△ 4.9	117.2	△ 5.4	75.8	△ 14.6	94.7	△ 2.8
2026.1	103.4	2.2	72.4	△ 10.3	117.5	0.5	90.1	20.4	114.4	△ 2.2	85.5	△ 3.5	92.2	△ 2.1
2	104.4	△ 7.0	84.9	△ 3.5	109.5	△ 25.7	89.4	2.4	120.9	△ 9.5	83.0	△ 2.5	97.7	△ 8.7
3														
4														
資料出所	徳島県統計課													

(注) 鉱工業生産指数は季節調整済。前年比は原指数比較。年度は原指数。

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数						推計人口 (徳島県)		百貨店・スーパー販売額		専門量販店		コンビニエンスストア
	繊維		食品・飲料・飼料		木材・木製品		千人	人	百万円	%	ドラッグストア	ホームセンター	%
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比					前年比		
	wt.65.6	%	wt.620.1	%	wt.172.1	%	社会動態 (転入-転出)	前年比	前年比	前年比	前年比		
2022年	103.2	1.6	105.6	4.3	107.3	3.2	702.0	△ 7,824	90,124	4.0	5.8	0.6	2.6
2023年	104.2	1.0	103.7	△ 1.8	97.0	△ 9.6	693.1	△ 8,878	93,914	4.2	10.9	1.3	3.1
2024年	90.5	△ 13.1	91.5	△ 11.8	89.7	△ 7.5	683.5	△ 9,574	95,354	1.5	6.9	1.8	0.8
2025年	90.9	0.4	92.5	1.1	92.7	3.3	—	—	95,370	0.0	4.8	△ 0.1	1.5
2025.1	94.7	△ 5.9	96.6	0.4	92.5	2.9	683.5	△ 635	7,950	1.0	6.6	1.7	1.7
2	101.1	22.0	85.5	△ 13.5	89.0	△ 5.7	682.4	△ 1,071	7,210	0.1	2.6	1.2	△ 0.4
3	98.4	11.4	97.4	6.3	88.7	△ 0.5	681.5	△ 962	7,964	4.1	7.3	5.2	2.7
4	82.3	16.8	85.0	△ 9.0	95.3	11.8	678.8	△ 2,706	7,570	2.7	5.0	3.1	2.2
5	85.4	5.7	92.3	△ 3.9	98.1	11.9	678.7	△ 115	7,902	2.7	7.8	2.5	2.7
6	88.8	6.8	100.3	12.7	94.9	10.9	678.0	△ 633	7,626	0.6	6.8	0.5	3.5
7	88.0	△ 1.9	80.5	△ 14.4	90.0	0.5	677.4	△ 659	7,979	0.4	4.2	△ 1.6	1.1
8	93.7	0.5	91.8	3.3	91.2	△ 0.4	676.8	△ 567	8,635	△ 1.1	0.3	△ 4.3	2.2
9	89.7	△ 12.4	92.0	10.7	92.2	1.4	676.2	△ 551	7,551	△ 1.2	3.2	△ 3.1	0.1
10	92.2	△ 5.4	91.3	8.9	96.2	5.5	—	—	7,728	△ 1.4	5.0	0.2	△ 0.5
11	88.4	△ 10.5	96.0	0.2	90.6	△ 1.2	—	—	7,802	△ 2.0	7.3	△ 0.5	2.4
12	88.0	△ 11.7	105.7	15.8	94.3	5.4	—	—	9,453	△ 4.3	2.5	△ 4.9	0.3
2026.1	89.8	△ 5.2	89.8	△ 7.1	99.9	8.0	—	—	7,944	△ 0.1	4.4	1.3	0.6
2	90.3	△ 10.6	89.9	5.1	96.3	8.1	—	—	6,964	△ 3.4	5.5	△ 1.5	0.2
3							—	—	7,794	△ 2.1	5.3	1.8	0.1
4							—	—					
資料出所	徳島県統計課						四国経済産業局						

(注) 推計人口は、年次は各年1月1日、月次は各月1日時点の数値。

(注) 「百貨店・スーパー販売額」の対前年比増減率は、2020年3月から、調査先の見直しに伴いギャップを調整するリンク係数で処理した数値で算出。

摘要 年月	新車登録車数		新車届出車数		新設住宅着工					公共工事保証請負		
	乗用車 台	前年比 %	軽乗用車 台	前年比 %	総数		持家	貸家	総面積 m ²	件数 件	金額 百万円	前年比 %
					総戸数 戸	前年比 %	前年比 %	前年比 %				
	台	%	台	%	戸	%	%	%	m ²	件	百万円	%
2022年	11,916	△ 9.9	8,456	△ 10.1	2,718	△ 10.7	△ 9.9	△ 23.2	276,130	3,507	132,768	△ 3.2
2023年	14,634	22.8	9,701	△ 14.7	3,108	14.3	△ 5.6	64.7	278,671	3,411	132,112	△ 0.5
2024年	13,765	△ 5.9	8,618	△ 11.2	2,770	△ 10.9	△ 3.1	△ 23.4	260,853	3,450	136,590	3.4
2025年	14,102	2.4	9,159	6.3	2,555	△ 7.8	△ 12.0	△ 25.2	253,457	3,391	153,393	12.3
2025.1	1,250	10.7	767	14.8	181	38.2	13.6	207.1	18,798	122	5,102	13.8
2	1,338	21.0	948	35.4	152	△ 39.7	△ 9.7	△ 81.8	16,245	158	6,003	1.8
3	1,625	11.5	956	21.0	223	6.2	45.5	△ 40.5	22,585	292	15,926	22.3
4	1,119	11.7	685	33.0	228	△ 2.1	△ 38.5	△ 99.0	22,646	395	25,497	24.2
5	932	0.3	596	0.3	223	13.2	△ 0.8	27.9	21,866	278	19,131	22.5
6	1,167	11.9	720	△ 6.5	222	12.1	△ 6.8	119.4	23,137	294	9,235	△ 0.9
7	1,270	0.6	789	7.6	229	△ 34.0	△ 24.4	56.0	20,599	433	21,700	60.0
8	891	△ 8.9	587	△ 9.6	246	△ 12.1	△ 23.8	△ 19.6	22,993	294	13,370	32.8
9	1,121	△ 12.9	925	5.4	220	△ 18.2	△ 28.2	△ 12.2	21,624	483	13,624	9.2
10	1,194	△ 7.9	763	△ 1.4	181	△ 16.6	△ 6.1	△ 68.6	19,432	285	10,151	△ 23.5
11	1,147	△ 9.5	746	△ 12.0	243	2.5	△ 30.0	△ 58.3	24,039	227	7,680	△ 11.1
12	1,048	4.3	677	△ 3.1	207	4.0	△ 12.6	75.9	19,493	170	4,434	△ 26.9
2026.1	1,178	△ 5.8	902	17.6	253	39.8	5.1	120.9	22,963	128	7,593	48.8
2	1,262	△ 5.7	869	△ 8.3	184	21.1	2.7	95.0	18,305	147	7,533	25.5
3	1,374	△ 15.4	912	△ 4.6	173	△ 22.4	△ 46.3	47.7	15,743	257	13,440	△ 15.6
4	1,332	19.0	712	3.9						485	32,091	25.9
資料出所	自動車販売店協会		軽自動車協会		国土交通省					西日本建設保証(株)		

(注) 公共工事保証は年度。

摘要 年月	消費者物価指数 (総合、徳島市)		家計消費支出(勤労者) (徳島市)		小売物価 ガソリン(徳島市)		雇用市場					
	生鮮食品を 除く総合	前年比 %	消費支出 円	前年比 %	価格 (円/L)	前年比 %	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率	
							人	%	人	%	倍	ポイント
	2020年=100	%	円	%	(円/L)	%	人	%	人	%	倍	ポイント
2022年	101.8	1.8	308,936	△ 10.9	168.0	12.8	12,966	2.8	16,343	5.4	1.26	0.03
2023年	104.6	2.8	322,417	4.4	168.0	0.0	13,184	1.7	15,831	△ 3.1	1.20	△ 0.06
2024年	107.6	2.8	318,426	△ 1.2	171.0	1.8	13,505	2.5	15,446	△ 2.4	1.14	△ 0.06
2025年	110.5	2.7	321,208	0.9	175.0	2.3	13,090	△ 3.1	15,416	△ 0.2	1.18	0.04
2025.1	109.4	3.1	320,194	19.3	178.0	5.3	12,859	1.8	15,807	△ 3.9	1.14	△ 0.07
2	109.2	2.9	305,715	11.0	183.0	10.2	13,034	△ 0.4	15,982	△ 4.7	1.15	△ 0.05
3	109.5	3.0	305,331	2.5	183.0	8.9	13,346	0.1	15,718	△ 3.0	1.16	△ 0.04
4	110.2	3.1	323,961	△ 5.2	187.0	8.1	14,165	△ 0.6	15,255	△ 1.6	1.16	△ 0.01
5	110.7	3.4	301,164	△ 18.4	181.0	4.6	14,032	△ 1.8	15,183	0.8	1.18	0.03
6	110.7	3.0	331,853	26.5	171.0	△ 1.2	13,719	△ 2.6	14,930	△ 0.6	1.17	0.02
7	111.0	2.8	292,785	△ 17.1	172.0	△ 1.7	13,463	△ 1.8	15,194	1.6	1.17	0.04
8	111.0	2.3	297,150	△ 9.8	171.0	△ 1.7	13,099	△ 1.7	14,969	1.5	1.17	0.03
9	110.4	2.4	332,666	7.7	173.0	0.6	13,139	△ 2.1	15,330	1.7	1.18	0.05
10	111.0	2.4	292,434	△ 14.0	173.0	1.2	13,105	△ 4.7	15,584	0.9	1.19	0.07
11	111.6	2.5	380,215	19.8	173.0	1.8	12,358	△ 7.2	15,582	△ 2.2	1.18	0.06
12	111.2	1.8	330,392	△ 7.6	159.0	△ 7.6	11,970	△ 5.6	15,578	△ 3.4	1.19	0.03
2026.1	111.2	1.6	479,098	49.6	153.0	△ 14.0	12,376	△ 3.8	15,609	△ 1.3	1.17	0.03
2	110.4	1.1	335,508	9.7	153.0	△ 16.4	12,652	△ 2.9	16,044	0.4	1.18	0.04
3	111.2	1.6	351,672	15.2	168.0	△ 8.2	13,000	△ 2.6	15,735	0.1	1.20	0.03
4	111.4	1.1			162.0	△ 13.4						
資料出所	総務省					徳島労働局職業安定課						

(注) 家計消費支出は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯（農林漁家世帯を含む）の一世帯あたり平均。

(注) 有効求職者数、有効求人数、有効求人倍率は年度平均。

(注) 有効求人倍率は季節調整値、同前年比は原指数による。

摘要 年月	常用雇用指数 (産業計)		所定外労働時間指数 (製造業)		現金給与総額指数 (産業計)		延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		外国人延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		本州四国連絡 道路交通量	
	2020年 =100	前年比 %	2020年 =100	前年比 %	2020年 =100	前年比 %	千人泊	前年比	千人泊	前年比	大鳴門橋 千台	前年比 %
2022年	102.0	△ 0.8	119.7	3.4	100.9	△ 3.3	1,842.2	15.2	18.1	88.4	8,930	21.3
2023年	104.2	2.2	106.0	△ 11.4	102.1	1.2	2,259.0	22.6	129.3	612.8	9,730	9.0
2024年	104.9	0.8	86.1	△ 18.2	109.2	5.4	2,615.7	11.9	180.5	39.6	9,813	0.8
2025年	105.1	0.2	88.4	2.7	113.8	4.2	2,648.6	1.3	230.3	27.6	10,306	5.0
2025.1	105.1	1.0	85.3	△ 2.2	94.4	8.9	170.6	6.1	14.2	123.4	787	2.2
2	104.0	0.0	87.2	1.2	91.6	4.9	175.3	5.9	13.0	48.1	682	△ 4.1
3	103.4	0.1	90.8	△ 3.9	98.7	9.8	233.3	2.9	25.4	29.5	907	5.5
4	103.9	△ 0.4	86.2	△ 3.1	96.0	6.8	236.9	10.1	27.3	61.6	806	2.4
5	104.7	0.1	84.4	2.2	94.3	5.4	243.2	0.2	20.3	21.5	912	4.8
6	105.4	0.8	80.7	2.3	161.4	4.9	178.3	2.4	16.0	43.4	743	4.3
7	105.3	△ 0.2	87.2	3.3	131.3	1.9	228.7	14.9	16.2	△ 4.4	822	3.6
8	105.4	0.2	83.5	3.5	95.4	2.0	282.9	△ 0.2	14.3	3.1	1,122	13.0
9	105.5	△ 0.2	87.2	8.1	94.4	2.9	213.0	△ 0.8	14.6	16.7	832	1.8
10	105.8	0.2	94.5	6.2	92.6	1.4	236.2	△ 3.2	25.8	32.4	845	4.2
11	106.3	0.5	97.2	7.0	94.4	△ 0.9	245.3	△ 6.8	22.7	0.6	887	7.7
12	106.3	0.3	92.7	4.2	220.7	4.0	205.2	△ 9.5	20.5	31.6	873	5.2
2026.1	104.0	△ 0.8	84.4	△ 5.2	92.4	△ 2.5	158.5	△ 7.1	12.5	△ 12.3	815	3.6
2	103.5	△ 0.5	92.7	6.3	92.0	0.4	161.5	△ 7.9	14.2	8.6	723	6.0
3											926	2.0
4											787	△ 2.4
資料出所	徳島県統計課						国土交通省				本州四国連絡高速道路	

(注) 常用雇用、所定外労働時間、現金給与総額は、5人以上の事業所。
 (注) 延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数は、2022.12までは確定値、2023.1以降は第2次速報値。
 (注) 本州四国連絡道路交通量は年度。

摘要 年月	航空輸送状況 (国内線)				金融関連			企業倒産			信用保証協会代位弁済		
	旅客		貨物		実質預金	貸出金	貸出約定 平均金利	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	旅客数 人	前年比 %	貨物量 トン	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 年利%	件	百万円	%	件	百万円	%
2022年	839,629	111.2	972	15.4	0.5	2.2	1.074	32	7,344	18.2	137	934	63.4
2023年	1,054,468	25.6	1,080	11.2	0.1	1.5	1.040	37	3,278	△ 55.4	190	1,662	78.1
2024年	1,072,208	1.7	1,181	9.3	2.3	1.1	1.114	46	3,595	9.7	308	2,413	45.2
2025年	1,118,486	4.3	1,047	△ 11.3	1.6	0.9	1.309	68	6,046	68.2	320	2,819	16.8
2025.1	86,175	19.6	109	57.2	1.0	1.0	1.125	4	438	525.7	20	181	373.1
2	87,678	12.7	92	15.8	1.1	0.5	1.135	4	185	825.0	27	133	△ 49.6
3	99,367	3.8	136	64.7	2.2	0.2	1.181	4	515	13.7	13	55	△ 62.1
4	80,954	6.8	110	30.9	1.3	0.8	1.241	8	203	76.5	27	346	41.9
5	92,629	4.0	84	23.0	1.6	0.6	1.246	5	350	△ 50.4	22	206	△ 7.2
6	85,429	6.5	123	51.7	2.0	0.0	1.260	8	570	115.1	30	209	△ 16.2
7	87,180	3.0	93	△ 11.9	2.4	0.2	1.265	7	656	16.1	35	212	24.3
8	112,940	12.5	78	△ 9.1	2.9	0.4	1.265	4	575	167.4	21	270	62.4
9	90,150	3.3	75	△ 12.4	2.5	0.6	1.280	5	755	1,697.6	28	242	△ 7.2
10	97,831	3.8	69	△ 15.0	1.6	0.6	1.288	4	990	760.9	33	237	39.5
11	104,064	8.5	80	△ 28.8	1.7	0.5	1.289	7	205	△ 65.5	27	221	2.8
12	91,995	0.7	101	△ 28.0	1.6	0.9	1.309	8	604	38.9	21	83	△ 75.9
2026.1	85,313	△ 1.0	79	△ 27.2	2.7	1.5	1.332	9	615	40.4	23	225	24.7
2	87,399	△ 0.3	78	△ 15.1	3.4	1.6	1.365	7	1,205	551.4	14	143	7.7
3	102,602	3.3	77	△ 43.2				7	1,080	109.7	39	424	675.6
4								7	565	178.3			
資料出所	国土交通省 大阪航空局				日本銀行			東京商工リサーチ			徳島県信用保証協会		

(注) 航空輸送状況は年度。2021.3までは確定値、2022.4以降は速報値。
 (注) 実質預金(資金化していない手形、小切手等を差引いたもの)・貸出金残高の2021年4月以降の計数は、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額。
 (注) 実質預金、貸出金残高及び貸出約定平均金利は、年・月末。
 (注) 貸出約定平均金利は、県内に本店を置く地域銀行および信用金庫の全店舗を対象とした貸出約定平均金利を集計したもの。
 2020年1月の徳島大正銀行の発足に伴い、徳島県の2020年1月以降の計数は、2019年12月以前とは連続しない。
 (注) 保証協会代位弁済は年度。